

令和3年2月17日（水）
国土交通省関東地方整備局
荒川下流河川事務所

記者発表資料

荒川下流河川事務所において 「フレームワークモデル工事」による工事発注を試行します。

技術者の確保や労働力、資機材の調達が困難である等の工事内容や地域特性を踏まえ、競争参加者が少数と見込まれ、技術的難易度が比較的低い工事について、受発注者双方の施工体制確保を図る必要があることに鑑み、該当する複数の工事（フレームワーク）について、予め参加希望者の意思を確認し、施工能力を審査した上で、特定工事参加企業名簿を作成、その中から複数の工事参加者を指名する「フレームワークモデル工事（総合評価落札方式）」を試行します。

今回公表する案件に係わる発注予定情報の公表及び参加意思表示等の申請受付については、荒川下流河川事務所ホームページ及び事務所掲示板にて公表しています。

- ・ ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage01005.html>

発表記者クラブ

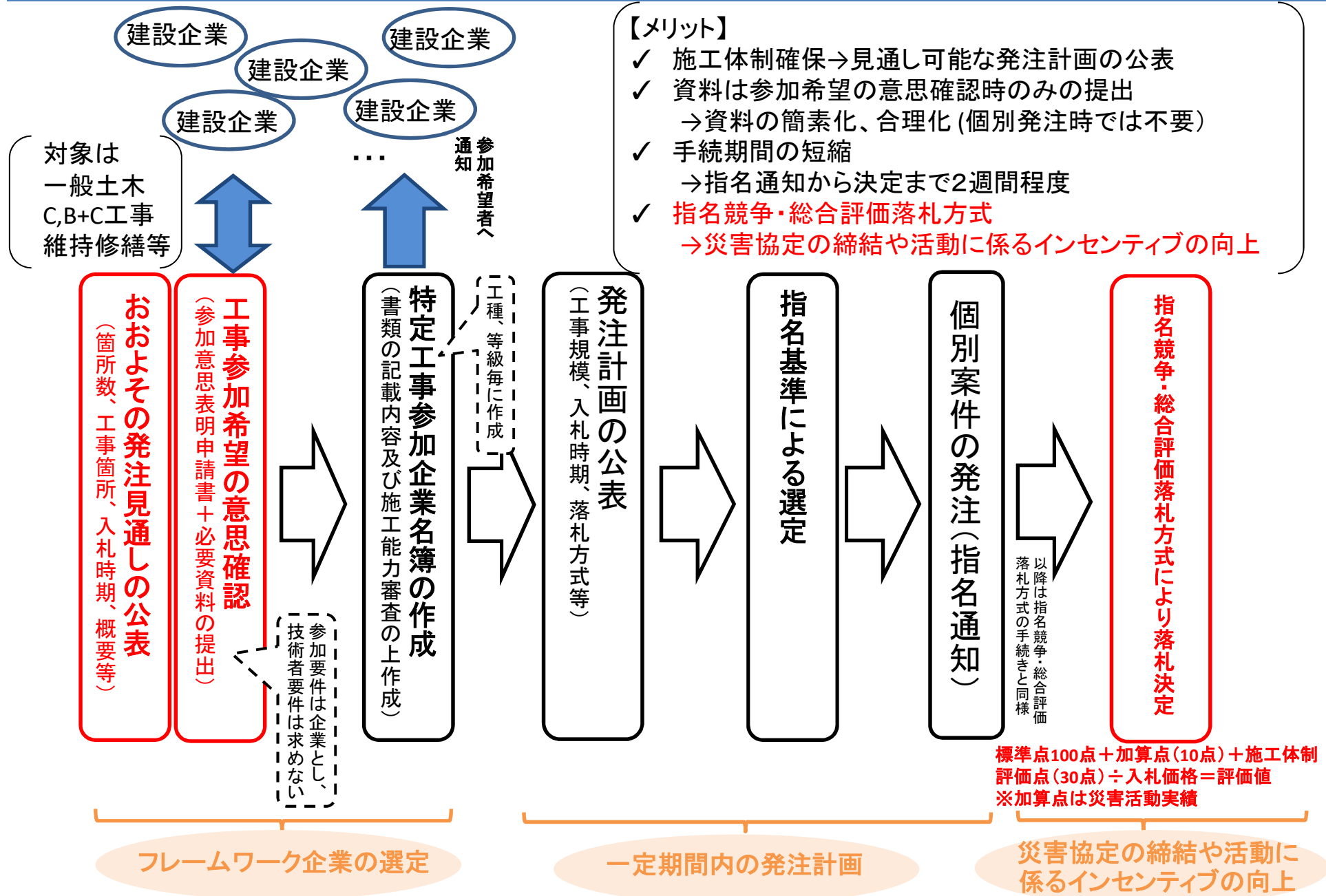
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、
東京都庁記者クラブ（東京都）、川口市記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所 電話03-3902-2311（代表）

副所長	おざわ	なおき
	小澤	直樹
工務課長	しまむら	まさゆき
	島村	正幸

フレームワークモデル工事(総合評価落札方式)の試行について



- 【メリット】**
- ✓ 施工体制確保→見通し可能な発注計画の公表
 - ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
 - ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
 - ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上